



進路だより

福島県立たむら支援学校
進路指導部通信 第1号
令和元年 7月19日発行

前期産業現場等における実習を実施しました

本校では、自立と社会参加に向けた職業教育の一環として中学部、高等部において産業現場等における実習を各学部とも2回計画しております。今回の進路だよりでは、それぞれの学部の産業現場等における実習の様子をお知らせします。

中学部では、6月24日（月）から、28日（金）までの5日間、民間会社のご協力をいただき、ノック式消しゴムの委託作業に取り組みました。「できました。」「お願いします。」などの仕事をする上での必要なやり取りを行うことや、作業に取り組む姿勢を大切にして指導を行いました。



（中学部の実習の様子）

高等部では6月17日（月）から28日（金）までの10日間、2年生は企業や福祉サービス事業所のご協力のもと校外での実習を行い、1年生は校内の作業学習で所属している作業班での実習を行いました。3年生は特別実習という形で校外実習を適宜行っています。実習中は一人一人が自分で決めた目標を日々意識しながら、作業に取り組んでいました。卒業後の「働く生活」に必要な力とは何かを生徒とともに考えられるように、今後も指導を進めていきたいと思えます。



（高等部の実習の様子）

☆お知らせ

8月2日（金）に郡山市ビッグパレットにおいて、第7回特別支援学校作業技能大会が行われます。高等部では、ビルクリーニング部門・喫茶接客サービス部門・PCデータ入力部門・作業製品品評会に出場します。お時間があれば来場いただき、生徒の学習の成果をご覧ください。